

# 第一薬科大学

「データサイエンス教育導入プログラム」に係る

自己点検・評価書

令和5年3月

教務委員会 データサイエンス教育小委員会

### 1. 点検・評価の実施について

第一薬科大学教務委員会データサイエンス教育小委員会では、「データサイエンス教育導入プログラム」について令和4年度の点検・評価を行った。

### 2. 点検・評価の対象科目について

本プログラムを構成する「情報処理演習Ⅰ」及び「情報処理演習Ⅱ」について主に点検・評価を行った。

### 3. 点検・評価の結果

項目	点検結果	評価
履修・修得状況	両学部の必修科目の為、1年次生の履修履修率は両科目とも100%である。単位取得状況は89%（履修者228名）であった。これは、ためであると考えている。	履修学生に情報、データサイエンス及びAIの重要性を教授でき、また教職員によるきめ細やかな対応が実施できた。
教育効果	両科目とも講義形式と演習形式を適宜組み合わせ実施している。また学習成果の一部はレポート課題により評価している。	2年次以降のプレゼンテーション科目や実習科目におけるデータの取り扱い等で教育成果を発揮できると期待している。また、技術の進歩に伴うAI関連の話題に興味・関心を抱くことのできる基礎的教養を身につけることができた。
学生への授業アンケート	複数のアンケート項目（理解度やシラバス通り講時実施等）を実施しているが、理解度、満足度共に高い評価を得ている。	FD委員会、自己点検・評価委員会及び教務委員会で共有・分析することによって、より高い学習成果が得られる教育プログラムの構築に役立てる。

<p>産業界との連携</p>	<p>数理・データサイエンス・AI 教育に関して木村情報技術株式会社と包括連携協定を締結しているとともに、AI ベンダーや製薬会社等の 10 名を超えるデータサイエンティストに薬科学科授業を担当していただいている。本プログラムを通して、即戦力となるデジタル人材の育成に貢献することを目的に、本プログラムを構成しているため、産業界からの視点を含めた講義内容になっている。また、本学の特徴として、地域連携事業を積極的に行っている。企業、行政等の中でビッグデータを活用した課題解決に向けた共同事業なども進められており、その中において具体的な教育プログラムの内容や手法の改善に対する意見を頂く。</p>	<p>本プログラムを修得した学生が産業界との連携を通じて、より高度な内容を修得できるような適切な環境が築かれている。</p>
----------------	---	--